

「ちりとてちん」の概要

福井県小浜市と大阪を舞台にしたNHK連続テレビ小説でNHK大阪制作。2007年10月～2008年3月まで放送。「ちりとてちん」は、好きなモノにはとことんのめり込むが、肝心な時につい物事を悪い方へ考えてしまい、結局はうまくいかない性格の主人公、和田喜代美（実家は伝統的な若狭塗箸の職人の家）が、高校卒業後、突然大阪行きを決意。大阪ではひょんなことから出会った落語に魅せられ、厳しい徒弟制度に揉まれながら日本一の女流噺家を目指していくというストーリー。

「落語」と「おかあちゃん」がキーワードの、恋あり涙あり笑いありのドラマ。

脚本家 - 藤本有紀

「ラブレボリューション」「天才柳沢教授の生活」「花より男子」「ギャルサー」で知られる藤本有紀（ふじもとゆき）が、NHK連続テレビ小説で初めて脚本を執筆する。

ヒロイン - 貫地谷しほり

また、ヒロインは東京都出身で2002年にデビューした貫地谷しほり。NHKでは、大河ドラマ「風林火山」でのミツ役を演じている。また、映画「スウィングガールズ」での姿も記憶に新しい。また、2008年にはTBS系のテレビドラマ「あんどーなつ」で再び福井県出身の主人公を演じて話題に。

主な出演者

主人公

- ・和田喜代美（ヒロイン） - 貫地谷しほり

ヒロインの家族と福井の人々

和田家（若狭小浜の伝統的箸作り）

- ・和田系子（喜代美の母） - 和久井映見
- ・和田正典（喜代美の父） - 松重 豊
- ・和田小梅（喜代美の祖母） - 江波杏子
- ・和田正太郎（喜代美の祖父） - 米倉斉加年
- ・和田小次郎（喜代美の叔父） - 京本政樹
- ・和田正平（喜代美の弟） - 橋本 淳

和田家（近代的箸作り）

- ・和田秀臣（小浜の大手箸工場の社長） - 川平慈英
- ・和田清美（和田秀臣の娘） - 佐藤めぐみ
- ・和田友春（和田清美の兄） - 友井雄亮

大阪の人々

徒然亭一門の方々

- ・徒然亭草若（落語の師匠） - 渡瀬恒彦

- ・徒然亭草々（2番弟子：番組当初は草若に残った唯一の弟子） - 青木崇高
- ・徒然亭草原（1番弟子：番組当初は草若の元弟子、スーパー店員） - 桂 吉弥
- ・徒然亭四草（4番弟子：番組当初は草若の元弟子、中華料理店員、元エリート商社マン）
- 加藤虎之助
- ・徒然亭小草若（3番弟子：草若の息子、「底抜けに〜」でヒットした芸人） - 茂山宗彦

居酒屋「寝床」ほか

- ・熊五郎（寝床の店主） - 木村祐一
- ・咲（寝床のおかみ） - 田実陽子
- ・磯七（散髪屋店主・寝床の常連） - 松尾貴史
- ・緒方奈津子（大阪のフリーライター） - 原 沙知絵
- ・菊江（仏壇屋） - キムラ緑子

タイトル「ちりとてちん」の意味

上方落語の「ちりとてちん」という演題から名づけたと思われる。落語の「ちりとてちん」では、知ったかぶりでいやみを言う隣人に、ご隠居が一計を案じ、腐った豆腐を「これは長崎名物のちりとてちんだ」と言って食べさせるという内容（関東では酢豆腐という演題であることも）。本来は三味線を擬音化した言葉。

関連リンク集（外部）

- ・ [NHK 公式ページ](#)
- ・ [貫地谷しほり \(ABPinc\)](#)
- ・ [貫地谷しほり \(ウィキペディア\)](#)
- ・ [しほりのおしゃべり工房 \(オフィシャルブログ\)](#)

カテゴリー